

なごや市会だより

広報

名古屋市会の議場は全国でも珍しい円形になっており、円滑な議会運営を目指し、議席を円形にしたと言われています。▶



議会の活動

令和6年(2024年)9月 第192号

6月定例会特集号

6月定例会は、6月19日から7月4日までの16日間にわたって開かれ、令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援などに関する補正予算や条例案など市長提出案件18件、議員提出議案6件についての審議などを行いました。

名古屋市会

Q 検索



名古屋市ウェブサイト(市会情報)▶

6月定例会の日程(概要)

開
会

6/19
本会議

市長提出案件について
市長より提案説明

6/24~26
本会議

個人質疑、議案外質問
(→詳細は、2・3面)

6/27~7/3
常任委員会

市長提出案件について
審 査

7/4
本会議

市長提出案件などについて
議 決(→詳細は、1・4面)

閉
会

令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援などに関する補正予算を可決

■令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援などに関する補正予算3件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。(1万円未満は四捨五入しています。)

令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援

能登半島地震被災地域応援経費……………5,940万円
令和6年能登半島地震により被害を受けた石川県七尾市への職員派遣に伴う補正

能登半島地震被災地域応援経費(水道事業会計)……………8億5,183万円
令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援として、応急復旧等を実施

能登半島地震被災地域応援経費(下水道事業会計)……………1,800万円
令和6年能登半島地震に係る被災地域への応援として、被害状況調査等を実施



上下水道局による被災地における活動の様子

そ の 他

低所得者支援及び
定額減税補足給付金の支給
……………43億8,400万円
給付予定額が当初予算を上回る見込みと
なったことによる増額

医療的ケア児保育支援事業
……………923万円
施設型給付幼稚園等に対し、医療的ケア児
の受入に必要な看護職員の配置等に要す
る経費を助成

幼稚園医療的ケア児看護職員配置補助
……………781万円
私学助成幼稚園に対し、医療的ケア児の受
入に必要な看護職員の配置等に要する経
費を助成

6月定例会 市長提出案件の賛否

■以下の16件(上記の補正予算を含む)については、いずれも全会一致により原案どおり可決(諮問案件については異議なき旨の答申議決、人事案件については同意または異議なき旨の答申議決)しました。

《条 例 案》●市税条例の一部改正 ●下水道条例の一部改正 ●地区計画等の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
●東山公園テニスセンター条例の一部改正

《補正予算》●令和6年度一般会計補正予算(第2号) ●令和6年度水道事業会計補正予算(第1号)
●令和6年度下水道事業会計補正予算(第1号)

《一般案件》●契約の一部変更 ●訴えの提起 ●土地区画整理に伴う町及び字の区域の変更 ●住居表示に伴う町の区域の設定及び変更
●市街地における住居表示実施区域及び当該区域における住居表示の方法 ●訴訟上の和解

《諮問案件》●保護費の返還の督促に関する審査請求

《人事案件》●固定資産評価審査委員会の委員選任 ●人権擁護委員の推薦

■以下の2件については、賛成多数により原案どおり可決しました。

《条 例 案》●名城庭球場条例の一部改正(名城庭球場の利用料金の基準額等を改定するもの)

《一般案件》●契約の一部変更(名古屋城天守閣整備事業先行工事(木材の製材)の請負契約について、完成予定期日を変更するもの)



会派の 自民 自由民主党名古屋市議員団 民主 名古屋民主市議員団 公明 公明党名古屋市議員団 減税 減税日本ナゴヤ

略称説明 共産 日本共産党名古屋市議員団 陽向 なごや陽向の会 青空 青空の会 元気 名古屋元気と夢の会 新生 新生会 維新 日本維新の会名古屋市議員団

発行／名古屋市会 〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号 TEL 972-2094 FAX 972-4100

発行日／令和6年9月1日

編集／名古屋市会編集委員会(編集委員長:浅井正仁議員(自民) 編集委員:おくむら文悟議員(民主)、おか千恵議員(公明)、永井ゆり議員(減税))

議案外質問から

6月24日から26日の本会議では、29人の議員が市政全般に対する議案外質問を行い、市長はじめ市当局の考えをいただきました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。(発言順に記載してあります。)

6月24日(月曜日)

中川 あつし議員 (減税)

名古屋グリーンパートナー登録団体への表彰制度創設

質問 街の美化にご尽力いただいている名古屋グリーンパートナー登録団体に対し、表彰制度を創設しては。

答弁 団体のモチベーションを高めるとともに、継続して活動していただくための励みにもなると考えられることから、他の表彰制度を参考に検討する。(環境局長)

小出 昭司議員 (自民)

2026年NHK大河ドラマ「豊臣兄弟!」による観光推進

質問 「豊臣兄弟!」の大河ドラマ館を中村公園に仮設で建設し、歴史観光の核として事業を推進しては。

答弁 観光誘客に有効な起爆剤となるため、豊田秀吉・秀長兄弟の生誕の地である中村公園に「豊臣兄弟!」の大河ドラマ館の建設を検討する。(観光文化交流局長)

久田 邦博議員 (民主)

子どもの近視予防の取り組み

質問 民間と連携した近視予防の講座や啓発を行っては。また、効果的な予防のため近視の実態調査をしては。

答弁 民間事業者と連携した近視予防の取り組みを試行したい。また、発達段階等を踏まえた近視予防のため、裸眼視力も含めた近視の実態調査に努めたい。(教育長)

月森 たくや議員 (公明)

障害者・高齢者権利擁護センターの待機期間短縮

質問 障害者・高齢者権利擁護センターの待機期間の短縮に向けた取り組みと待機期間の目標は。

答弁 申し込みから契約締結まで1ヵ月半程度を目指し、業務の一部の外部委託化を速やかに検討するなど、市社会福祉協議会と連携して取り組む。(健康福祉局長)

個人質疑から

6月24日の本会議では、提出議案に対する個人質疑を行いました。
主な質問・答弁の概要は次のとおりです。

くずや 利枝議員 (自民)

「医療的ケア児の子育てサロン」の実施

質問 在宅の医療的ケア児の親子が安心かつ気軽に参加し、同じ境遇の保護者同士が交流できるような「医療的ケア児の子育てサロン」の実施が必要では。

答弁 早急に課題整理を行い、令和7年度の早い時期に実施できるよう検討する。(子ども青少年局長)

田口 一登議員 (共産)

公立保育所の職員配置改善

質問 保育所において、改正された保育士配置基準に基づく職員配置を、どのように実施するのか。

答弁 保育の質の向上を図る体制整備は重要だが保育士の確保等の課題もあるので、職員体制を段階的に整備するため関係局と調整を進めたい。(子ども青少年局長)

永井 ゆり議員 (減税)

小学校入学前段階のなごや子ども応援委員会の周知

質問 入学前に実施される就学時健康診断の機会を活用し、なごや子ども応援委員会の周知を実施しては。

答弁 保護者の不安を和らげ、必要な支援を早期に開始できる点で重要である。現状の取り組みを確認し、健康診断の機会を捉え、周知を検討していく。(教育長)



上村 みちよ議員 (自民)

公立保育所の今後の在り方

質問 少子化の進展や幼児教育・保育の政策の重点が質の向上へ移行する中、保育所の在り方をどう考えるか。

答弁 6年度「公立保育所の今後のあり方懇談会」を立ち上げ、将来の利用者の減少を踏まえ公的施設としての役割を整理し在り方を検討する。(子ども青少年局長)

うえぞの 晋介議員 (民主)

南海トラフ巨大地震の被害想定の見直し

質問 被害想定公表後、約10年経過した。これまでの取り組みや教訓を総括し、被害想定を見直すべきでは。

答弁 国や県の動向を踏まえ、最新の知見に基づく南海トラフ巨大地震の被害想定見直しを行い、震災対策の基礎とできるよう検討する。(防災危機管理局長)

中村 しゅうへい議員 (公明)

ビオトープを設置している小中学校への出前講座

質問 生物多様性に、より興味を持ってもらえるよう、なごや生物多様性センターのノウハウを活用し、ビオトープを設置している小中学校を中心に出前講座を行っては。

答弁 モニタリング調査やイベント開催で培ったノウハウ等を活用し出前講座の実施を検討する。(環境局長)

村瀬 きよみ議員 (青空)

金融リテラシーを育むためのキャリア教育

質問 学校教育でお金の仕組みを学ぶことは重要と考えるが、本市のキャリア教育における今後の取り組みは。

答弁 学校の取り組みを支援するキャリア教育推進センターにおいて、金融機関も含めた幅広い分野の協力企業等を増やし、教育プログラムの充実を図る。(教育長)

佐藤 ゆうこ議員 (減税)

東区役所の整備における移転案の見直し

質問 東区民より区役所を移転する整備案を白紙とし、再検討するよう要望書が出されているが、市長の考えは。

答弁 区民の納得を得られないまま整備を進めることはできない。区民の意見を付して、建築のプロの意見も聞きながら、説明会を早期に開催したい。(河村市長)

藤沢 ちあき議員 (自民)

学校給食におけるオーガニック食材の提供

質問 給食におけるオーガニック食材について、現在提供されているバナナに続き、さらに進めていく考えは。

答弁 新たな献立として、有機食材を使った冷凍パイナップルの提供を考えているほか、有機食材を原料の一部とした加工品の開発を含め、幅広く検討する。(教育長)

くにまさ 直記議員 (民主)

市政資料館の魅力発信

質問 NHKの朝ドラのロケ地となって注目を集めるこの機会に、市政資料館の魅力を全国に発信すべきでは。

答弁 出演者のサインコーナーの設置等を行っているほか、今後もドラマに関する企画等を通じて魅力を発信し、重要文化財としての価値を高めたい。(総務局長)



市政資料館



名古屋市生物多様性センターのビオトープ

木下 優議員 (公明)

ギャンブル依存症の予防教育と啓発の推進

質問 動画を活用したギャンブル依存症の予防教育や、市立高等学校における啓発を充実していく考えは。

答弁 教育委員会から各校へ依存症のリスク等を扱う動画を紹介し活用を促すとともに、ポスター掲示や新たに講演会を実施するなど、啓発の充実を進める。(教育長)

大島 英勲議員 (維新)

いじめ問題再調査委員会の情報開示の在り方

質問 再調査委員会の評価や検証を行う上でも、情報開示の在り方について踏み込んだ検討をすべきでは。

答弁 調査報告書の公表については、ご遺族等の意向も十分に配慮しながら、国のガイドラインの見直しを踏まえ、さらに検討を深めていく。(子ども青少年局長)

大村 光子議員 (減税)

本市職員採用試験への適正検査の導入

質問 職員採用試験について、多くの企業が導入する、適正検査の能力検査と性格検査の導入の検討状況は。

答弁 令和7年度に向け人材を呼び込む効果が期待できる新しい取り組みとして能力検査を検討し、性格検査について他自治体の状況等を研究する。(人事委員会委員)

成田 たかゆき議員 (自民)

総合リハビリテーションセンターの福祉部門の在り方

質問 福祉部門の在り方をセンターの運営に携わる総合リハビリテーション事業団も主体的に検討すべきでは。

答弁 今後、担うべき事業を、市だけでなく事業団が自ら考える必要があると認識している。有識者懇談会でも議論し早急に結論を出す。(健康福祉局長)

橋本 ひろき議員 (民主)

小・中学校の学級編制の確定日

質問 入学式当日の朝に学級の編成を確定させる現在の仕組みを、現場の声等も聞きながら検討すべきでは。

答弁 確定日を前倒すと、その間の転入で1学級当たりの児童生徒数が基準を超える場合がある。現場の声等を踏まえ、入学式等の工夫も含め検討したい。(教育長)

吉岡 正修議員 (公明)

外国人住民の地域参加を促進するための取り組み

質問 地域の協力者を登録し、行政・地域との話し合いの場を設けるモデル地域の設定等を行っては。

答弁 取り組み事例等を踏まえ、協力者の登録や地域課題解決の場に参加いただくなどモデル的な取り組みを地域の負担等に配慮し検討したい。(観光文化交流局長)

北角 嘉幸議員 (新生)

市立高等学校入学者選抜の改善

質問 令和5年度より本市で導入した学力検査を必要としない特色選抜について、さらに進めてはどうか。

答弁 子どもたちの多様な進路の選択につながる入学選抜の在り方を検討することは重要であり、今後、各学校現場の現状やニーズを踏まえ、考えていく。(教育長)

岩本 たかひろ議員 (自民)

災害時におけるペットの避難

質問 災害時にペットを安心して預けられる仕組みを民間団体等との協定締結を活用し、実施する考えは。

答弁 被災した飼主支援の充実のため、他都市の事例等を早急に調査し、ペットの一時預かりに関する協定を令和6年度中の締結を目指して進める。(健康福祉局長)

日比 美咲議員 (民主)

本市における孤独・孤立対策の推進

質問 孤独・孤立対策を推進するため、官・民が連携し、協働を図るプラットフォームを設置するべきでは。

答弁 官民連携プラットフォームの設置は孤独・孤立対策に有効であり、現在策定中の次期地域福祉計画の中で令和7年度の設置に向け取り組む。(健康福祉局長)

さかい 大輔議員 (公明)

宿泊施設の建築におけるバリアフリー化の基準の制定

質問 アジア・アジアパラ競技大会や大会後を見据え、新築の宿泊施設に対し、バリアフリー基準を定めては。

答弁 基準の制定は、大会のレガシーとなるものであり、本市がリーダーシップをとって独自条例の制定を視野に入れ、大会までには実現していく。(中田副市长)

横井 利明議員 (自民)

閉館中の名古屋城天守閣の活用

質問 観光客の誘致や木造天守に向けた機運醸成のため、建て替えが始まるまでの間、天守閣を開館しては。

答弁 市民討論会の差別事案に対する信頼回復が最優先だが、整備事業の再始動時には、天守閣の活用を含め、さまざまな観点から検討したい。(観光文化交流局長)

塚本 つよし議員 (民主)

名古屋市陽子線治療センターの周知・啓発

質問 がん治療施設として実績を上げる陽子線治療センターについて保険適用拡大に併せ、改めてPRしては。

答弁 陽子線治療のメリットや保険適用の現状を周知していく必要があり、医療機関や市民にPRしていただくよう西部医療センターに働き掛けたい。(総務局長)

金庭 宜雄議員 (公明)

入学準備金制度の見直しに対する副市長の見解

質問 就学奨励制度の充実を図る上で、給付による入学準備金制度への拡充について早急に検討すべきでは。

答弁 子どもたちが多様な未来を切り開けるような就学奨励制度の充実に向け、給付型入学準備金制度への拡充も教育委員会と早急に検討を進める。(松雄副市長)

西川 ひさし議員 (自民)

名古屋城における博物館構想

質問 侍文化を象徴する刀等武具を展示する特徴的な博物館にすべき。また一刻も早い事業区域の決定をすべきでは。

答弁 所蔵品に加え、市民から寄付された刀剣等を活用した展示を検討する。事業区域は年内に結論が得られるよう鋭意取り組む。(松雄副市長、観光文化交流局長)



市民からの寄贈品
たんとう しめい やすづ ほんあみかおう
短刀 朱銘 康継 (本阿弥弥花押)
つげたり なしじあおいもんまきえあいけう ごしらえ
附 梨子地突紋蒔絵合口 拵
(名古屋城総合事務所 所蔵)

岡本 やすひろ議員 (民主)

本市職員がより安心安全に働ける職場づくり

質問 過酷な労働環境で熱中症等のリスクがある現場職員が安心安全に働ける職場環境の整備を進める考えは。

答弁 体調を崩した事例や注意点等を各職場へ周知する。また、各区局室と十分に相談しながら、より安心安全な職場環境の実現に向けて取り組みたい。(総務局長)

浅井 正仁議員 (自民)

QRコードを活用した交通DXの推進

質問 利用者の利便性やコストカット等のメリットがあるQRコード乗車券の導入を本市でも検討しては。

答弁 市営交通事業経営計画2028にてデジタル技術による業務効率化を幅広く検討するとしており技術開発の状況や費用対効果等を見極めて検討したい。(交通局長)

インターネット議会中継について

本会議での質問などや委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)からパソコンやスマートフォンなどで録画中継を視聴できます。
ぜひ、ご視聴ください。



6月定例会 提出案件の賛否

議員提出議案

■以下の6件については、いずれも全会一致により原案どおり可決しました。

《意見書》

- 民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備と担い手確保対策の強化を求める意見書
活動費に係る財政措置の強化や負担軽減に資する取組の充実など、民生委員・児童委員が活動しやすい環境整備のさらなる推進を図るとともに、担い手確保に向けた抜本的な対策を検討し、必要な措置を講ずるよう強く要望するものです。
- ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書
誰もが自分らしく生きることができるとともに、ひきこもり支援基本法を制定するよう強く要望するものです。
- 医療用医薬品の安定供給の実現を求める意見書
国民に必要な医療用医薬品が十分に供給されるよう、急激に原材料価格やエネルギー価格などが高騰した際に薬価の下支えのため、より柔軟な価格変更を可能にするなど、医療用医薬品の供給不足を防ぐ取組を実施することなどを強く要望するものです。
- 地方財政の充実・強化を求める意見書
社会保障の充実、地域活性化、DX化、脱炭素化、物価高騰対策、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実を図ることなどを強く要望するものです。
- 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築に関する意見書
災害発生時における情報発信者や情報発信機器を事前登録することなどにより、情報の信頼性を担保し、災害現場からの正確な情報を収集・活用する情報連携環境の整備に向けた取組を実施することなどを強く要望するものです。
- 補聴器等の聴覚を補助する機器の積極的な活用に関する意見書
難聴に悩む高齢者が、医師や専門家の助言の下で、自分に合った補聴器を積極的に活用する環境を整えることなどを強く要望するものです。

🔗 意見書の全文は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)でご覧いただけます。

市選挙管理委員及び同補充員の選挙について

市選挙管理委員及び同補充員については、7月4日の本会議において、それぞれ投票により選挙を行いました。

6月定例会開会中に行った所管事務調査

■6月定例会では議案の審査のほかに、常任委員会において以下の事項について所管事務調査を行いました。

委員会	内容
総務環境委員会	市長特別秘書について調査(6月6日の委員会に引き続いて開催したもの)
財政福祉委員会	令和5年度一般会計収支見込みについて調査
土木交通委員会	地下鉄駅構内トイレのリニューアルについて調査

🔗 委員会での議論の様子は、名古屋市ウェブサイト(市会情報)にて録画中継を視聴できます。

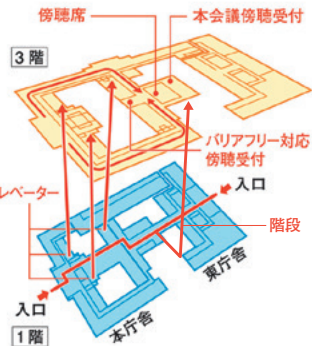


所管事務調査とは
常任委員会が委員会の所管に属する名古屋市の施策・事業について調査を行うことです。

本会議・委員会の傍聴

本会議

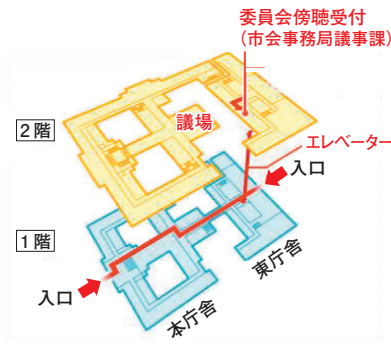
- ①本会議の当日、傍聴受付(市役所本庁舎3階)で傍聴券の交付申請をする。
- ②傍聴券を受け取り、入室する。
 - ・傍聴席は356席(車いす席は6台分)あります。



お問い合わせ 市会事務局総務課 TEL972-2083

委員会

- ①委員会の当日、市会事務局議事課(市役所東庁舎2階)で傍聴許可証の交付申請をする。
- ②傍聴許可証を受け取り、入室する。
 - ・傍聴席は各委員会室に10席(議会運営委員会室は7席)あります。



お問い合わせ 市会事務局議事課 TEL972-2075

市会広報ポスターの作成について

名古屋市会では、議会改革の一環として、昨年度、市民の皆さんに政治や市議会に対する関心を深めてもらうため、市立工芸高等学校デザイン科の生徒さんの協力を得て、市会広報ポスターを作成し、議会の情報発信の充実に取り組みました。

今年度も、同校デザイン科の生徒さんにご協力を得て、市会広報ポスターを作成することとしました。7月17日には、生徒さんに名古屋市会を訪問いただき、議場等の見学や田中里佳議長・田邊雄一副議長と意見交換等を行いました。

市会広報ポスターは、令和7年2月定例会に合わせて区役所や地下鉄駅等に掲示することを予定しています。



■以下の2件について、賛否と結果は下記の表のとおりです。

- ・名城庭球場条例の一部改正
- ・契約の一部変更

党派	氏名(区)	議決結果	可決
自民	伊神邦彦議員(千種区)	○	
	上村みちよ議員(東区)	○	
	渡辺やすのり議員(北区)	○	
	浅野有議員(西区)	○	
	小出昭司議員(中村区)	○	
	中田ちづこ議員(中区)	○	
	西川ひさし議員(昭和区)	○	
	ふじた和秀議員(瑞穂区)	○	
	服部しんのすけ議員(熱田区)	○	
	浅井正仁議員(中川区)	○	
	吉田茂議員(港区)	○	
	横井利明議員(南区)	○	
	藤沢ちあき議員(南区)	○	
	松井よしのり議員(守山区)	○	
	北野よしはる議員(守山区)	○	
	中里高之議員(緑区)	○	
	岩本たかひろ議員(緑区)	○	
民主	くずや利枝議員(名東区)	○	
	丹羽ひろし議員(名東区)	○	
	成田たかゆき議員(天白区)	○	
	山田昌弘議員(千種区)	○	
	くにまさ直記議員(東区)	○	
	服部将也議員(北区)	○	
	うえぞの晋介議員(西区)	○	
	うかい春美議員(中村区)	○	
	塚本つよし議員(中区)	○	
	おくむら文悟議員(昭和区)	○	
	久田邦博議員(瑞穂区)	○	
	森ともお議員(熱田区)	○	
	久野美穂議員(中川区)	○	
	赤松哲次議員(中川区)	○	
	加藤一登議員(港区)	○	
	橋本ひろき議員(南区)	○	
	小川としゆき議員(守山区)	○	
公明	岡本やすひろ議員(緑区)	○	
	日比美咲議員(名東区)	○	
	田中里佳議員(天白区)	議長	
	田邊雄一議員(千種区)	○	
	長谷川由美子議員(北区)	○	
	さわだ晃一議員(西区)	○	
	おか千恵議員(中村区)	○	
	木下優議員(中川区)	○	
	月森たくや議員(中川区)	○	
	吉岡正修議員(港区)	○	
	さかい大輔議員(南区)	○	
	金庭宜雄議員(守山区)	○	
	近藤和博議員(緑区)	○	
	中村しゅうへい議員(名東区)	○	
	辻まさお議員(天白区)	○	
	佐藤ゆうこ議員(東区)	○	
	田山宏之議員(北区)	○	
減税	大田とみひこ議員(西区)	○	
	豊田かおる議員(中区)	○	
	大村光子議員(昭和区)	○	
	中川あつし議員(中川区)	○	
	沢田ひとみ議員(港区)	○	
	大谷ともひろ議員(緑区)	○	
	永井ゆり議員(緑区)	○	
	鈴木孝之議員(天白区)	○	
	岡田ゆき子議員(北区)	×	
	みつなか美由紀議員(緑区)	×	
共産	田口一登議員(天白区)	×	
	金城ゆたか議員(瑞穂区)	○	
	野田留美議員(守山区)	○	
	村瀬きよみ議員(中村区)	○	
	神ひろし議員(千種区)	○	
	北角嘉幸議員(千種区)	○	
	大島英勲議員(名東区)	○	

○…賛成 ×…反対
議長…議長のため議決に参加できない

※名古屋市会では、平成23年度から、市会だよりの毎月発行化に向け、予算要求をしていますが、残念ながら、河村市長から『回数をふやすことは、必要性、費用対効果の面で疑問がある』として、毎月発行化は認められていません。よって、今年度も現時点では年7回の発行を予定しています。